

平成25年度

単位施策評価表

所属 28250000

建設水道部 河川緑地課

施策	1203 河川環境の整備・管理							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
単位施策目的	水辺環境の整備、河川の美化活動、水質の浄化等を進める。							
成果指標	清掃作業参加人数							
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [ 人 ]	予定	15,200.00	15,400.00	15,600.00	15,800.00	16,000.00	
		実績	15,488.00					
	成果指標2 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標3 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 [ ]	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	72,432		0	0	0		
	実績	95,113			0	0		
内部評価	貢献度	基本施策の目標値達成には、市民への普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正に行うことが必要であるため、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。						
	達成状況	普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正に行い、平成25年度の目標値を下位の主要事業とも越える達成状況。事業・施策とも概ね良好の進捗である。						
	課題	自治会や愛護団体との連携を図りながら、市民への普及啓発及び活動支援を促進していくとともに、河川・水路等の適切な維持管理を実施していくことが必要。						
	取組方針	市民意識向上を推進するため、普及啓発及び活動の支援を行うとともに、河川環境の整備・維持管理を適正に行うことで清掃作業参加人数の増加を図りたい。						
外部評価	<p>施策の目標に対する進捗は順調であるため、引き続き目標達成に向けて努力願いたい。</p> <p>目標となっている清掃作業について、一部の限られた方の参加に留まることのないよう、子どもたちや事業者への参加が見込めるよう工夫願いたい。</p> <p>施策の目標について、清掃作業参加人数だけでなく、河川環境に関する指標（生物指標や菌類指標など）の追加を検討願うとともに、河川汚染を防ぐため水田への農薬使用規制についての取組みを検討すべき。</p> <p>河川清掃においては、雨水対策の一環として水草や土砂の採取も行うことを検討願いたい。また、河川の整備に関しては、国や県との連携が不可欠であるため、これまで以上の連携を強化願いたい。観光部局と連携し、河川を活かしたエコツーリズムの研究を進めること。</p>							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	152501	水質調査事業費（栃木）				3,837	100	
	152503	水質調査事業費（藤岡）				3,262	100	
	426101	河川総務事務費（栃木）				2,787	100	
	426104	河川総務事務費（都賀）				390	100	
	426301	河川浄化施設管理費				2,753	100	
	426501	河川・水路清掃事業費				13,405	100	
	426703	渡良瀬遊水地対策事業費				8,647	100	
	444301	寺尾ふれあい水辺の広場公園整備事業費				7,221	100	
	445801	永野川緑地公園整備事業費				40,469	100	
421201	永野川桜づつみモデル整備事業費				9,028	98		



事業

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	080301	予算科目コード	426501	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策					
事業名	河川・水路清掃事業費																	
担当部署	建設水道部 河川緑地課 河川チーム																	
担当担当者	鈴木 道夫																	
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	河川法に準拠									事業期間	H18 ~ H30	年度	平成25年度	全体事業費 (千円)	62,000
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までは、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入) 市民の河川愛護活動等によるゴミ、土砂等の処理、また市内排水路等の機能維持や生活環境の改善のため、市民とともに土砂や汚泥等の除去を行う。 【主要事業】</p>																	
達成目標	<p>①清掃作業参加人数 5年後(H25~H29)の参加人数16,000人(現状値15,000人)</p>																	
成果目標	<p>平成24年度 巴波川(雷電橋から学悠館高校協区间)の一斉清掃を3回(5月、7月、10月)に実施。 一斉清掃に併せて市広報紙にて周知し、25自治会(約900人)の協力を得て実施した。 その他、市内水路等の清掃を実施した。</p>																	
成果目標	<p>平成25年度 巴波川(雷電橋から学悠館高校協区间)の一斉清掃を3回(5月、7月、10月)に実施。 一斉清掃に併せて市広報紙にて周知し、25自治会(約1,000人)の協力を得て実施した。 その他、市内水路等の清掃を実施した。</p>																	

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他特財	0	0
一般財源	4,946	11,155
事業費 a	4,946	11,155
人件費 b	2,250	2,250
減価償却費 c	0	0
総事業費 a+b+c	7,196	13,405
結果指標1	8,000	27,000
結果指標2	3,000	3,000

事業費・指標の推移

指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	指標名	算出方法								
清掃実施箇所数	H25目標値：10箇所	実績値：10箇所	箇所							
巴波川一斉清掃	H25目標値：3箇所	実績値：3箇所	回							

(改善内容とその効果を具体的に記入)

排水路等の美化清掃活動等を行っている自治会、住民グループ等に対して清掃用具の貸与などにより活動の支援を促すことで、美化啓蒙の向上と排水路等の維持管理の効率化を図っていく。  
施策目標達成に向けて、河川愛護への意識高揚を図り、市広報紙やSNSを通じて一斉清掃に関する広報強化を模索する。

事後評価

